

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	美保(29)格納庫新設建築設計	階数	地上1F
建設地	鳥取県境港市	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	102 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021/0/0	評価の実施日	2018年8月20日
敷地面積	3,040,500 m ²	作成者	梓設計 柴崎弘史
建築面積	6,785 m ²	確認日	2018年9月4日
延床面積	6,661 m ²	確認者	中国四国防衛局

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 75%
③上記+②以外の 75%
④上記+ 75%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境
Q2 サービス性能
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境 3.3, 温熱環境 2.0, 光・視環境 2.8, 空気質環境 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性 2.4, 耐用性 3.0, 対応性 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境 2.0, まちなみ 2.0, 地域性 2.5

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物外皮の 5.0, 自然エネ 3.0, 設備システ 4.3, 効率的 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源 3.0, 非再生材料の 3.7, 汚染物質 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化 4.0, 地域環境 3.0, 周辺環境 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	航空機の整備や利用者の効率的な活動に配慮し、機能的な施設構成とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	快適な執務空間と、航空機の騒音に配慮し、エプロン側はサッシの防音性能に配慮した	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に可能な限り緑地を設けた。
Q2 サービス性能	執務室の機能性に配慮し、O Aフロアを取り入れた。また、天井高さも快適な空間となるよう配慮した高さとした。	LR3 敷地外環境 適切な駐車場、駐輪場の配置により、交通負荷の抑制に考慮した。
LR1 エネルギー	外装サッシに必要に応じてLow-Eガラスを採用し、熱負荷の低減に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の活用と、有害物質の含まない内装材を使用する計画とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される